

# 学 習 指 導 案

岩手県立福岡工業高等学校

- 1 授業者氏名 安東 宏晃
- 2 日 時 平成26年8月25日(月) 4校時
- 3 対象学級 機械システム科2年 30名
- 4 場 所 機械システム科2年
- 5 科目・単元 生産システム技術・第1章第5節 電流の化学作用と電池
- 6 使用教科書 生産システム技術(実教出版)
- 7 指導目標 電池を使用した製品を設計する立場に立ち、倫理観を育む。
- 8 本時の指導計画

段 階	学 習 内 容	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点	評 価 の 観 点 と 評 価 方 法
導入 5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時学習内容の説明を聞く。</li> <li>・電池の種類について復習する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書等で確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・概要を説明する。</li> <li>・グループワークについて説明する。(1班4~6人)</li> </ul>	
展開 40分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習プリントのあいまい事例(ボタン電池の使用)について内容を理解する。</li> <li>・各個人で線引き問題に取り組む。(選択肢を順番に並べ、許せる行為と許せない行為の間に線を引く。)</li> <li>・グループで討論を行う。(各個人の意見交換とグループとしての意見をまとめる。)</li> <li>・各グループで発表する。</li> <li>・電池誤飲に関する事例を読む。</li> <li>・再度グループ毎に意見交換する。</li> <li>・各グループで発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事例をイメージできるように読み取る。</li> <li>・理由も記述する。</li> <li>・個人の意見とグループの意見が異なった場合、他者の意見を受けて共感した内容も書く。</li> <li>・黒板に直接書き込み、主な理由も書く。</li> <li>・意見の相違があった場合には、その理由もまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内容を理解させるよう補足する。</li> <li>・機器を設計する立場であることを認識させる。</li> <li>・司会や記録を決め進行することを指示する。</li> <li>・他者の意見で共感したものを記述させる。</li> <li>・書き方等の補足を行う。</li> <li>・消費者庁の資料をもとに誤飲事故の重大さを理解させる。</li> </ul>	<p>[思考・判断・表現] プリント記述内容</p> <p>[関心・意欲・態度] グループワークでの関わり</p>
まとめ 10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事故を想定することが重要であることを理解する。</li> <li>・感想を記入する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時を通じて、技術者としての倫理感の重要性について感じたことをまとめる。</li> </ul>		<p>[関心・意欲・態度] プリントの記述内容</p>